平成 27 年度貸借対照表の概要

① 資産の部

ア 公共資産

「有形固定資産」は、長期間にわたって住民サービスを提供するために使用されるもので、次のような資産が含まれています。

生活インフラ・国土保全 --- 道路、橋梁、公園、市営住宅

教育 --- 小・中学校校舎・屋体、プール、公民館、地区センター、図書館、総合体育館・運動公園等スポーツ施設、給食センター

福祉 --- 保育所、児童館、総合福祉センター、老人福祉センター、デイサービスセンター

環境衛生 --- 診療所、火葬場、保健センター

産業振興 --- 漁港、農道、林道、農村センター等各種センター、農・漁村公園、職業訓練センター、サン・スポーツランド、勤労青少年ホーム、レストハウス、観光案内所、キャンプ場、シートピアなあど、リバーパークにいさと、潮里たろう情報発信基地

消防 --- 消防屯所、コミュニティ消防センター、消防自動車、防火水槽

総務 --- 庁舎、出張所、市民文化会館

イ 投資等

投資等は、「投資及び出資金」や「貸付金」、「基金」のほか回収期限から 1 年以上経過した「長期延滞債権」で、「長期延滞債権」のうち「回収不能見込額」を減額しています。

ウ 流動資産

流動資産は、「現金・預金」や財政調整基金などの必要に応じて使える「基金」、税金等の当年度の「未収金」で、「未収金」のうち「回収不能見込額」を減額しています。

② 負債の部

ア 固定負債

固定負債には、翌々年度以降に返済や支払いが行われる「地方債」や「退職手当引当金」を計上しています。

イ 流動負債

流動負債には、翌年度に返済や支払いが行われる「翌年度償還地方債」や「翌年度賞与支払」などを計上しています。

③ 純資産の部

純資産には、有形固定資産の見直し等による資産評価額の増分を「資産評価差額」として計上しています。

④ 他団体及び民間への支出金により形成された資産

これまでに他団体及び民間への支出金によって形成された資産について、目的別に注記しています。

なお、貸借対照表の有形固定資産と同様に、記載されている金額は減価償却後の金額となっています。

⑤　普通会計の将来負担に関する情報

普通会計における地方債残高や退職手当負担見込額などの将来負担、基金残高や地方債償還金に充当される地方交付税収入見込額などの将来負担から将来負担を軽減する財源を差し引いた実質的な将来負担額を注記しています。